ケンタッキー産バーボンの対カナダ輸出、貿易紛争激化で85%減

州による酒類販売管理で、カナダ当局は米国産ボトルを迅速に撤去でき、価格上昇や市場喪失の長期化懸念が強まっている。

2026年9月23日（水）



米国とカナダの貿易紛争は、関税と報復措置が国境をまたぐ取引に広がるなか、ケンタッキー産バーボンのカナダでの販売を直撃し、消費者のコスト上昇への懸念を高めている。

ケンタッキー州当局によると、対カナダの蒸留酒輸出は最大85%落ち込んだ。政治的緊張がバーボン業界の主要な海外市場の一つをいかに急速に混乱させ得るかを示す大幅な減少だ。この減少は、ケンタッキー州のアンディ・ベシア知事が9月、ドナルド・トランプ大統領に対し関税政策の変更を求めた書簡の中でも言及された。

この問題は蒸留酒メーカーに限らない。カナダの経済学者トッド・ハーシュ氏によると、この紛争

は国境の両側の消費者や企業にも影響しており、膠着が続けば価格を押し上げる可能性がある。WTMJの「Point Taken」でハーシュ氏は、米国産酒類のカナダでの販売が急減しており、その一因は同国の酒類販売の仕組みにあると述べた。

カナダでは、州政府が酒類の購入と流通で中心的な役割を担っている。その仕組みにより、どの商品を仕入れ、販売するかについて州には広範な権限がある。ハーシュ氏は、そのため州政府は米国産のボトルを店頭から撤去でき、それによって小売業者と消費者の米国ブランドへのアクセスをすぐに断つことができると述べた。

この仕組みは、バーボンが今回の紛争で初期かつ目に見える犠牲になっている理由を説明する。多くの市場では、貿易圧力が卸売業者、流通業者、店舗在庫を通じて影響するまでに時間がかかる。だがカナダの酒類制度では、特にある製品カテゴリーが公的な購買チャネルに大きく依存している場合、政府の措置がはるかに速い影響をもたらす。

ケンタッキー州にとって、その余波は大きい。バーボンは同州を代表する輸出品の一つであり、カナダは重要な販路だった。この規模の損失は販売減少を通じて蒸留所に直接影響するだけでなく、安定した貿易の流れに依存する供給業者、物流会社、ホスピタリティ関連事業にも及ぶ可能性がある。

この紛争は、飲料ビジネス全体にも広範な影響を及ぼす。両国間の関税や規制は、蒸留酒、さらには他の輸入酒類についても、出荷量、コスト、商品の入手可能性を変え得る。貿易戦争が続くか拡大すれば、輸入業者、バー、レストラン、小売業者は供給逼迫、卸値上昇、ブランド構成の変更に直面する可能性がある。

カナダの消費者はすでに、いくつかの米国産製品へのアクセス低下という形で影響を感じている。関税が維持されるか新たな規制が加われば、その圧力は輸出業者や州の購入担当者から、店頭価格やレストランのドリンクメニューへと、さらに川下へ及ぶ可能性がある。ハーシュ氏は、貿易障壁が日常のコストにどう波及するかを挙げ、この紛争はいずれ消費者の支払い額に影響すると述べた。

バーボン市場は、貿易政策が工場や工業製品を越えて、消費財にまで素早く及ぶことを示す明確な例となっている。蒸留酒は、国境をまたぐ輸送、規制された販売網、時間をかけて築かれたブランドロイヤルティに依存しているため、特に影響を受けやすい。これらのいずれかが突然途切れれば需要は弱まり、供給業者が棚の定位置を取り戻すのは難しくなる。

ベシア知事によるトランプ氏への訴えは、カナダ向けの輸出に関わる州の当局者から高まる圧力に拍車をかけている。同氏の書簡は、蒸留酒出荷の急減を、現在の関税政策が州の主要産業に害を及ぼしている証拠だと指摘した。いかなる政策変更の詳細もなお不透明だが、この書簡は、経済学者や企業だけでなく、雇用と税収減を懸念する州指導者の間でも反対が広がっていることを示している。

この紛争が注目されるもう一つの理由は、両国の緊密な商業関係にある。米国とカナダは世界有数の貿易関係を共有しており、多くの分野が国境での予見可能なルールに依存している。そのルールが変われば、需要の強い製品でさえ巻き込まれ得る。

バーボンメーカーにとって、カナダ市場が重要なのは、現在の販売だけでなく、長期的なブランドの位置づけという意味でも同じだ。いったん棚から外されれば、競合が売り場を確保し、消費者が

別の選択肢に移る可能性がある。仮に貿易摩擦が後に緩和しても、企業が流通網を再構築し市場シェアを取り戻すには、時間と追加コストが必要になるかもしれない。

同じリスクは、飲料業界全体にも広く当てはまる。関税が購買判断や仕入れ方針を左右し続ければ、蒸留酒を輸入、流通、提供する事業者は、在庫の調整、供給契約の再交渉、あるいはコスト増の吸収を迫られる可能性がある。特に、米加貿易に依存して高級ボトルや定番ブランドを安定供給している事業者には重要な問題となり得る。

当面、ケンタッキー州当局が示したバーボンの数字は、この紛争の影響を測る最も明確な指標の一つとなっている。対カナダ輸出が85%減という事実は、一時的な減速以上のものを示している。それは、米国を代表する蒸留酒の一つにとって重要な市場で、貿易対立がすでに現実の商業的打撃を生み出していることを示唆している。